

■世帯台帳

プライバシーの保護に配慮して自主防災 ㊟
 組織会長が責任をもって保管する。
 自主防災組織名

世帯主		電話番号		避難先	津波や山・がけ崩れ危険予想地域	警戒宣言発令時	避難地〔 親戚・知人宅に避難の場合、避難先の住所・氏名・電話番号 〕	
住所						突発地震時 ※	津波避難ビル・高台・避難地・その他〔 〕	
※ 住居形態	持家 借家 アパート マンション	間借 その他	平屋 階建			延焼火災危険予想地域		一時避難地〔 〕 広域避難地〔 〕
※ 地域特性	津波危険予想地域、山・がけ崩れ危険予想地域、 延焼火災危険予想地域、液状化危険予想地域、その他					その他の地区	地震発生後、 自宅に住めなくなった場合	避難地〔 親戚・知人宅に避難の場合、避難先の住所・氏名・電話番号 〕

No.	(ふりがな) 氏名	続柄	明・大・昭・平・令 生月日	血液型		昼間の居場所(平日)	緊急時の自主防災 可能=○ 組織への協力 不可能=×			防災上の参考事項役に 立つ資格・技能、災害時 要支援者の状況 等
				ABO	Rh		平日	休日	夜間	
1										
2										
3										
4										
5										
6										
7										

(記入上の注意)

- ※=該当する項目を○で囲む
- 緊急時の自主防災組織への協力・・・小学生以下は除く
- 防災上役立つ資格・技術等例・・・元消防団員・隊員・保健・助産・看護師、元警察官・自衛官、整体・整骨師、栄養・調理師、救急・水難救助資格者、アマチュア無線有資格者、重機等のオペレーターなど
- 避難行動要支援者の状況の記入例・・・寝たきり、歩行困難、視力不自由、聴力不自由、幼児など要支援者の状態を記入する。